

10月号

奈良大学附属高等学校 図書部 発行

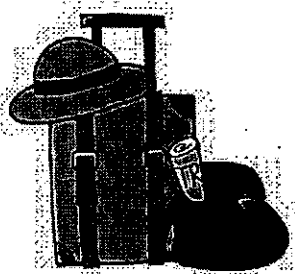


記録に残る酷暑だった今年の夏でしたが、いつの間にやら涼しい風が吹くようになり、騒がしかったセミの声もいつしか美しく涼しげな虫の音色にかわっています。季節は秋へと移り変わってきましたね。みなさんは、どんな秋を楽しみたいですか。食欲の秋、勉学の秋、芸術の秋、スポーツの秋・・・いろいろありますね。でもやっぱり・・・『読書の秋』ですよ！

27日から2週間は、読書週間です。終戦まもない1947年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っている中で「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社や書店、図書館、そしてマスコミも加わって開催されたこの読書週間も、今年で72回目を迎えます。

今年のテーマは、『本と旅する 本を旅する』 私たちは、

「本」を通じて、時間を超えて空間をも越えて、いろんな場所を旅することができます。そしてその場所で、いろんな人と出会い、いろんな自分と出会うことができるんです。さあ、読書に最適なこの季節、スマホを脇において、「本」という切符を手にして、本と旅をしよう!!



図書委員 今月のオススメ



3年D組

フェルマーの最終定理

サイモン シン

新潮社



○数学嫌いでも感動する、360年以上にわたる超難問
との関いの結末

・ 嘘のように壮絶で、壮大なノンフィクションの物語。1600年代に生きたフェルマーは超天才数学者でした。フェルマーは、至るところに「〇〇という定理が真であることを証明した」と書き残します。しかし肝心の証明方法が載っていないものが多数ありました。そのうち殆どが数学者たちの努力により証明されたものの、1つだけどうしても証明ができていないものが残りました。最後に残ったこの定理は「フェルマーの最終定理」と呼ばれるようになります。そして、数学者たちとのフェルマーの定理との戦いは、350年以上にわたることになるのです。



「ほく5の七日間戦争」

・著者 宗田 理 ・発行日 1985年4月 ・出版社 創書店

あすこ:

明日から夏休みというある日のこと、東中学校の1年2組男子生徒22人が行方不明に
男子生徒の母親は徹底的に探したものの全く手がかりがつかない。たか男子生徒達
は廃工場に立てこもり、解放区と作り、ていた。好達は不良活動家などで男子達をサポートし
たり、誘拐されていた男子生徒を救出に行ったり、解放区で出会。たお年寄りとか協力したり
さいこには警察が突入したりと、大人数や学校に反旗を翻し仲間たちと立てこもるという
話です。

感想・おすすめの理由:

「ぼくらの七日間戦争」は自分から最初に読んだ小説で、読んでいた当時は、大人と学校に仲間達と廃工場に立て寄り、叛逆し、廃工場にはいてきた大人を撃退したりとてむやみやたらにしました。
1988年8月に映画化されました。「ぼくらの七日間戦争」の主人公達の中学生編が青春編で、シリーズとして作られているのでこちらもおすすめです。

1 年 A 組



今回紹介するのは小野不由美さんの
月の影 影の海です。この本は上下に分か
れています。

あらすじは...

主人公陽子が学校でケイキと名の男が突然
現われて連れ去って地図にない国へ行き
その国には異形の獣たちと戦いを話してす。
作画的な感想ですが異はデジホかおそい
ですが下から速くなりますので上を読み直すと
もありました。あと世界観がよくつくりまわ
ています。
おもしろいのでよからたらシリーズ本なので他の
作品もよからたら読んでほしい。

9月の図書館利用状況			
1年生	2年生	3年生	合計
43人	27人	172人	242人

3年生はいよいよAO入試がスタートしたり、推薦入試を迎えたりで、出願書類の準備などで利用している人も多いようです。もうすぐ定期テストも始まります。自習のための机も常設してあるので、マナーを守って、試験勉強にもぜひ利用してくださいね。

